

公民館どおり



＜発行＞岡山市立西大寺公民館
〒704-8115 岡山市東区向州 1-1
TEL (086)942-6252
FAX (086)942-0774

HP <http://www.city.okayama.jp/kouminkan/saidaiji/index.html> E-mail saidaijikouminkan@city.okayama.lg.jp

高校生と学ぼう！方言・若者言葉！！

岡山学芸館高校の多文化共生ゼミとインターアクトクラブの生徒が企画した、方言・若者言葉講座です。岡山在住の外国人の方や、老若男女問わずみんなで楽しく学びましょう！外国人の方の参加をお待ちしています。

日時 12月18日(日) 10時～12時
場所 西大寺公民館 3階 第1講座室
定員 20人 *先着順
対象 年齢制限なし ※小学生大歓迎！
申込 公民館へお申込みください
(電話も可)。

【時間割】

10:00 アイスブレイク
10:30 方言講座
11:00 若者言葉講座
11:30 応用編 (劇)

方言や若者言葉を使った楽しいゲームや劇をして一緒に楽しみましょう！

講座の募集にあたって、
高校生から写真が届きました。
ぜひお申込みください！



寄生植物

ハマウツボ保護地保全活動にご参加を

他の植物から養分をもらって成長する寄生植物で、絶滅危惧種の「ハマウツボ」。西大寺浜の河川敷の保護地では、熱心な保護活動のかがあって、春にはたくさんのハマウツボが咲くようになり、2021年には岡山市の「身近な生きものの里」にも登録されました。でも、ハマウツボは他の草がしげってしまうと、姿を消してしまいます。ハマウツボの咲く河原を守るために、みんなで保全活動(草とり)をします。

ぜひ、あなたもお手伝いください！



ステキな看板
が設置されま
した！

日時 12月4日(日) 13時半～15時 **雨天中止**

13:00～受付開始 *現地集合、現地解散

*参加人数によって終了時刻が変更になる可能性があります。

場所 東区西大寺浜の吉井川河川敷
永安橋東の信号を河口側に曲がり、土手上の道から河川敷におりる

定員 50人 **注) 小学生以下は保護者同伴**

申込 11月16日受付開始。申込ウェブフォームか西大寺公民館に12月2日までにお申込みください。(電話可)

持ち物 マスク・帽子着用、野外向きの服装、雨具、熊手など草抜き用具、軍手、飲料水

主催/吉井川ハマウツボ・ネットワーク、西大寺公民館
共催/医療法人 創和会 重井薬用植物園



↑申込フォーム

休館日: 水曜日、12月28日～1月4日(年末年始の休業)、1月9日(成人の日)

「雄神みんなで学校ごっこ」の センセイやってみませんか？

主催：雄神みんなで学校ごっこ実行委員会

西大寺公民館は、これまでつながりがうすかった雄神学区で、公民館として何かできることがないかと考え、雄神学区の方に様々な内容の聞き取り調査をしました。

その結果、子どもたちのことをとても大切に思っている地域であることを再確認しました。そんな雄神学区の方とともに、子どもたちが心豊かに育つためには、様々な人との関わりが必要だと考え、より多くの皆さんに顔見知りになっていただく仕掛けとして「雄神みんなで学校ごっこ」を企画しました。

子どもから大人まで、まちにくらす誰もがセンセイ、誰もがセイト。世代や立場を超えて、人と人とのつながりが双方向で自然発生的にできる場、子どもから大人までみんながステキな出会いと学びを楽しめる『楽校』を目指します。センセイそれぞれの特性や趣味、仕事をテーマにした、学校とは一味違う『授業』から成る1日限りの『学校ごっこ』。

1コマ 45分程度の『授業』をしてくださる方を大募集！あなたの世界をちょっぴりお裾分けする授業で、センセイにトライしてみませんか！みなさんの参加を心よりお待ちしております。



日時 令和5年2月26日(日) 9時～(予定)

会場 雄神幼稚園舎

対象 雄神学区にお住まいの方、また雄神学区で活躍したいと思っている方

※ 子どもから大人まで

申込 公民館にお申込みください。
後日、登録シートに記入いただきます。
詳細は公民館までおたずねください。

締め切り 12月27日(火)



館長コラム 社会教育・公民館を深く知るシリーズ⑨ 公民館はSDGsの達成に貢献します

岡山市の公民館の基本方針は、公民館は様々な事業を通してSDGsの達成に貢献するとしています。SDGsは国連が定めた持続可能な開発目標のこと。2030年までに世界中の人が力を合わせて達成したい17の大きな目標と、169の具体的なターゲット(的〈まど〉)ですね)が決められています。

※SDGsの詳しいことは、こちら⇒

岡山市の公民館はESD(持続可能な社会づくりを担う人が育つ学び)を進めてきました。私たちがくらしや地域



のありようを見直して、より良い方向に変え、今より少しでも良い社会にしてバトンを渡したいですね。そのために公民館でつながり、何が問題かを考え、できることから行動に移していくこと。外国人も含めて、今地域で困っている人たちのくらしが少しでも良くなるために何をしたら良いか考える。そんな学びから活動が始まるのが、実は持続可能なまちづくりになるし、公民館がSDGsに貢献することにもなると考えています。(館長 内田光俊)